

官民共創の新しいまちづくり協議会 議事概要

会議名	第4回伊那北駅周辺再生ワーキンググループ（WG）		
開催日	2024年11月1日(金)		
開催時間	開会	10:30	閉会 12:00
開催場所	きたっせ		
出席者			
協議会・WGメンバー	田畑和輝氏、高橋明星氏、須永次郎氏、笠井成樹氏		
事務局・職員	建設部：原（都市整備課長）		
関係者	山寺特別委員会（5名）		
欠席者	—		
議事	1、伊那北駅周辺整備のスケジュールについて 2、整備の方針について		

議事項目	概要	次のステップ
1、伊那北駅周辺整備のスケジュールについて（事務局説明）		
市の説明	<p>○市から説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備全体が一気に同時に進むことは難しい。 ・（他事例の参考では）①踏切→ ②駅舎→ ③仮ロータリー→ ④駅前広場→ ⑤周辺道路など 年単位で順番に進んでいくイメージを想定している。 ・優建事業について規模、事業内容、工程などについて検討中である。 ・11月中にJR東海と話をする機会があるので、工程的なものは、おぼろげに伺える可能性がある。 ・環状北線、踏切、駅舎、駅前広場工事を経て地域の交通課題などが変わる可能性がある。継続した検討を行い、予算や労力を効率的に使うことを考えた。 ・息の長い事業となる。現在の山寺地区の課題、要望が将来の要望と一致するか慎重に見極めたい。 	
2、整備の方針について		
市の説明	<p>○市から説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅の形状については、橋上駅、地上駅のパターンがある。 ・駅前広場の構成については、2ロータリーと1ロータリーのパターンがある。広場スペースの広さ、送迎駐車場の有無も選択肢。 	

地元の意見	<ul style="list-style-type: none">・交差点を歩道橋で超えるか、スクランブル交差点を生かすかのパターンがある。・ペデストリアンデッキで駅と歩道橋繋ぐ、又は地上に降りるパターンがある。・高コストなものほど、利便性は高いと想定されるが、身の丈に合っていない事業費は理解が得られず、実現も不可能なため最適解を模索していく。・今後の工事費高騰による事業費の考え方も影響する。・関係者、機関と協議を重ねる中で、考えを組み立てていく、戻りが無いように丁寧に進めたい。・優建事業については、地域課題の解決と共に、事業の採算性も関連する。昨今の事業費高騰は優建事業に影響することもある。 <p>○山寺区特別委員会</p> <ul style="list-style-type: none">・引き続き、区でできることは協力していく。・渋滞問題、駐車場設置は、まちの課題として継続して、要望、検討していく。・どこかの時点で、WGに地元からも参加できるようになると良い。	
WGの説明	<p>○WGメンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・新しいまちづくり事業では、WG活動の先に、細かい話し合いの場をつくるプロセスが設定されている。時期を見て優建事業者や、地元が参加できる場が設定できると考えている。	